

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

藤田守彦 会長 年度テーマ

=先人に感謝、今日から、そして明日へ=
ホップ、ステップ、ジャンプ!!

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 岩田 宏



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 藤田 守彦
幹事 田島 陽介

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第856回 例会No. 40 平成 25年 5月23日(木) 晴

- ローターソング 「それこそロータリー」
- 出席報告 会員44名中25名出席
- 出席率 60.98% 出席計算人数41名
- 修正出席率 5月9日 95.12%
- スピーカー 古池 鱗林 様

会長挨拶 副会長 吉田 光一

本日の外部卓話には堀江様の御計らいにより、大須演芸場から超美形講談師の古池鱗林様をお迎え出来ました。この後、どんなお話を御披露戴けるのか、楽しみに致しましょう。



1. ボーイングの787型機、リチウムイオン電池トラブルで1月16日から世界で飛ぶ全ての787型機の運行停止を米連邦航空局(FAA)が命じて、4ヶ月になります。

原因は日本のユアサバッテリー社製のバッテリーなので、休止期間の運休に依る多大な補償金でユアサの会社に対するダメージを心配していましたが「やっと飛ぶ事に成り、詳しい改善報告は見ておりませんが、一安心」です。

2. 5月4日～9日とドイツのフランクフルト&ハノーバーに出張しましたが、以前は名古屋→フランクフルトが13時間でしたが12時間で飛びました。飛行機の性能が良くなったのか？それとも、飛行高度が高くなって空気抵抗が少ないのか、空気が薄くなれば酸素が少なくなり、エンジンパワーが落ちるのではないかと素人考えです。にも関わらず、帰路は12時間近く掛かっていたものが10時間30分でした。

3. 日本の航空会社が保持するボーイング社の飛行機は現在372機ですが、ヨーロッパ製の350人～500人乗りのエアバスは51機です(これはボーイングの1/7です。)が、今回のバッテリートラブルで両者のバランスが変るようです。機体の35%を軽量化等で優れる日本製で占めているので、ボーイング社にも頑張ってもらいたいです。



図: 国内に於けるボーイング社の現状

(日本経済新聞 平成 25年 5月 21 日号 2面より)

4. ドイツのハノーバーメッセですが、展示ブースが30%程少なくなりました。ヨーロッパの景気が悪いのでなければ良いのですが、日本から見学ツアーは10～20%減で、大きく変わっていません。日本からの出品メーカー数は変わりありませんが画期的に新しい品物が無いのは淋しい状況です。

一方見学者は中国からの来訪者が倍化して全体の30%近くを占める感じがしました。

5. ドイツの市内タクシーは2年前迄ベンツの車が主流でしたが、日本のようにハイブリット化して、高く付く車に主流が変るのではなく、構造が簡単な車と生産量が多く車本体価格が安く、室内スペースが広いフォルクスワーゲンが圧倒的に多くなったのが目立ちました。

.....

《閉会点鐘時の挨拶》

古池鱗林様、本日は実に楽しい歴史のお話を御披露戴

